

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2020 年 第 2 週 (1月6日~1月12日) 図は次ページ以降に掲載

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症 E 型肝炎	2 人 推定感染地域 国内 1 人、不明 1 人
レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 アメーバ赤痢	2 人 病型 腸管アメーバ症 2 人
カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	3 人 菌種 <i>Escherichia</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 2 人
急性脳炎	6 人 病原体 インフルエンザウイルス A 型 2 人、 インフルエンザウイルス型不明 2 人、 RSウイルス 1 人、不明 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A 群 3 人
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 無症状病原体保有者
侵襲性髄膜炎菌感染症	1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
水痘（入院例）	1 人 病型 臨床診断例
梅毒	1 人 病型 早期顕症 期
播種性クリプトコックス症	1 人
百日咳	9 人 年齢階級 1 歳未満 1 人、2 歳 1 人、7 歳 1 人、 9 歳 2 人、10 歳代 2 人、20 歳代 1 人、40 歳代 1 人

<定点把握対象疾患の患者情報>

小児科及び内科定点報告の**インフルエンザ**(28.61 12.22 19.29 : 図 1-4)の定点当たり報告数は、前年 49 週(12 月 2 日~8 日)に注意報レベルの 10.00 を上回った。年末年始の休暇が明け、今後の患者の増加に注意が必要である。保健所別では、幸手(27.50)、春日部(25.70)保健所管内で多い。基幹定点報告の**インフルエンザ(入院)**は 36 人(前週 27 人、前々週 31 人)の報告があり、前年 51 週(12 月 16 日~22 日)以降多い状況が続いている。年齢階級別では、70 歳以上で 61%を占めている。他の小児科定点疾患では、**水痘**(0.97 0.47 1.12 : 図 5)の定点当たり報告数は、休暇前の水準に戻り、やや高い状況である。保健所別では、川越市(2.00)保健所管内からの報告が多い。**咽頭結膜熱**(0.88 0.26 0.62 : 図 6)の定点当たり報告数は、休暇前よりも減少したが、過去 4 年の同時期よりも高い水準である。保健所別では、狭山(1.07)、本庄(1.00)、幸手(1.00)保健所管内からの報告が多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.52 0.96 2.72 : 図 7)の定点当たり報告数は休暇前よりも減少した。保健所別では、依然として南部(8.60)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 23 人の報告があった。他の基幹定点報告疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 5 人の報告があった。

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325

FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsch.html>)で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報（第2週）

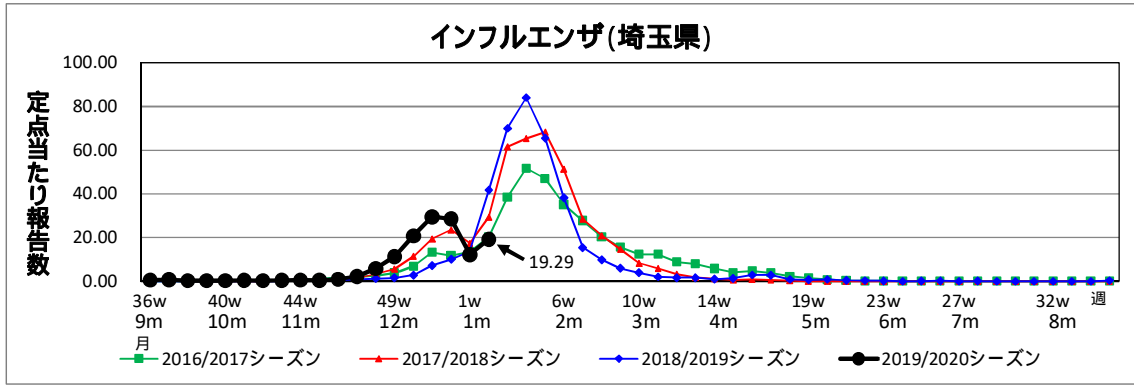


図1 定当り報告数の推移 小児科定点・内科定点からの報告

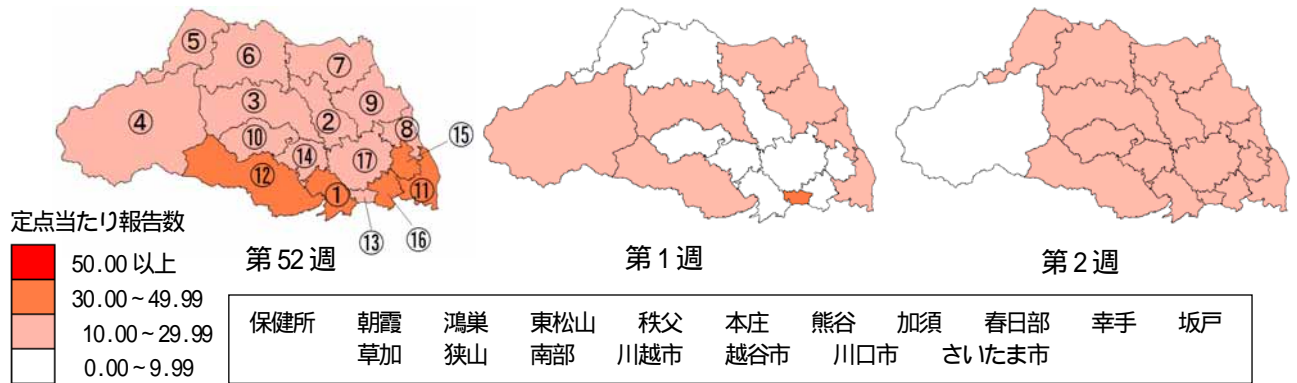


図2 保健所別流行状況の推移（第52週～第2週） 小児科定点・内科定点からの報告

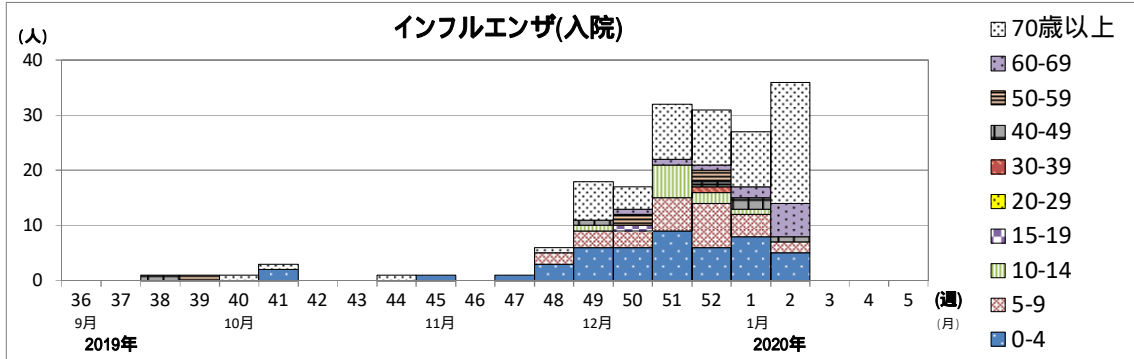


図3 年齢階級別インフルエンザ(入院)の週別報告数 基幹定点からの報告

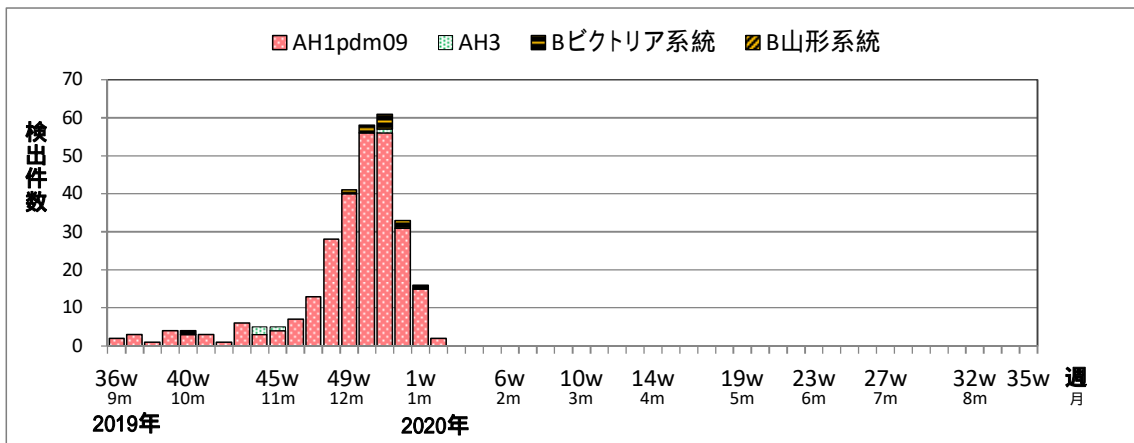


図4 AH1pdm09、AH3、B(ビクトリア系統、山形系統)の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図5 水痘

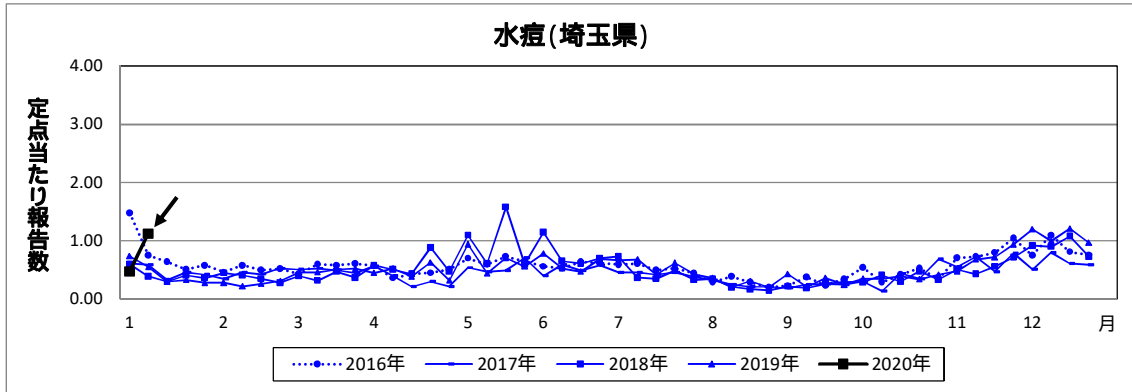


図6 咽頭結膜熱

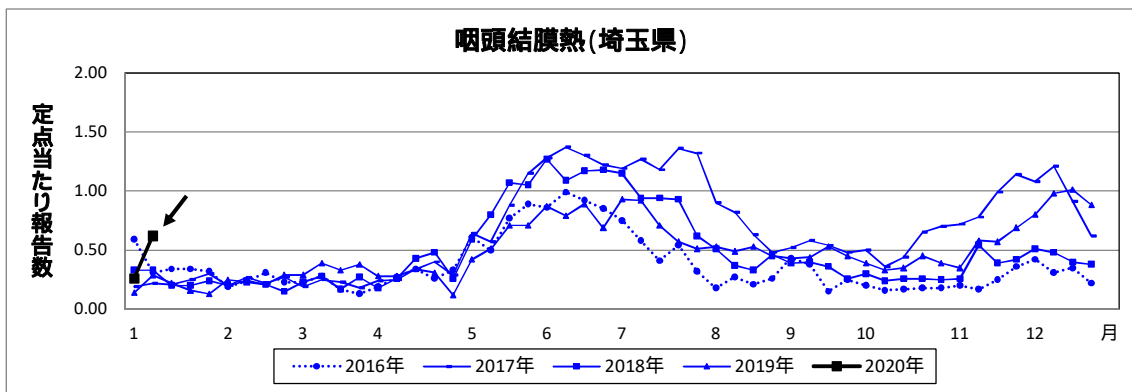
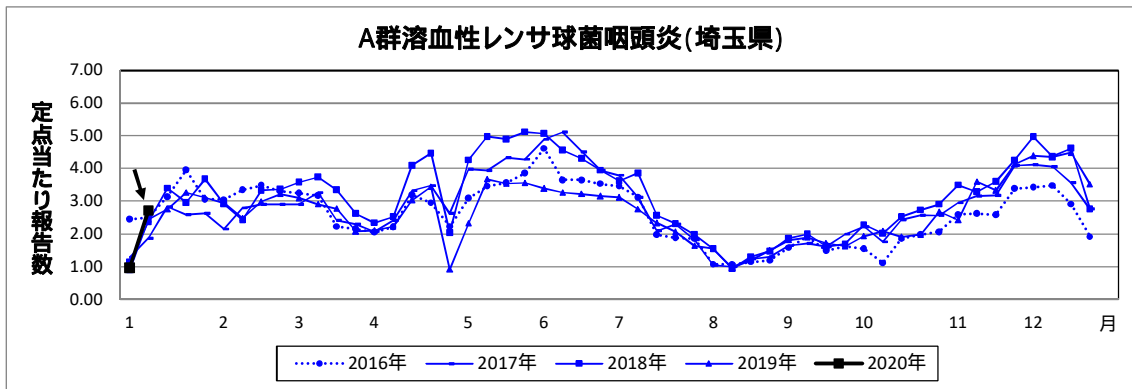


図7 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第2週)

(2020年1月14日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2019年 累計		今週 届出	累 計	2019年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			1
細菌性赤痢			6	パラチフス			4
腸管出血性大腸菌感染症			152				
四類感染症							
E型肝炎	2	2	21	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			14	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			1
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			1
チクングニア熱			3	レジオネラ症	1	1	117
つつが虫病			1	レプトスピラ症			1
デング熱			16	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	2	2	35	侵襲性肺炎球菌感染症	3	3	137
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			5	水痘*	1	1	17
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	2	90	先天性風しん症候群			1
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			4	梅毒	1	1	204
急性脳炎	6	5	59	播種性クリプトコックス症	1	1	9
クリプトスポリジウム症				破傷風			4
クロイツフェルト・ヤコブ病			8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	3	30	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群	1	1	46	百日咳	9	5	703
ジアルジア症				風しん			198
侵襲性インフルエンザ菌感染症			17	麻しん			35
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1		薬剤耐性アシネトバクター感染症			1
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他	累計
					累計は診断日で集計
					* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 (2020年第2週) 1月6日～1月12日

保健所別

報告患者数

保健所

インフルエンザ # 1

R S ウイルス感染症

咽頭結膜熱

A 群レンサ球菌咽頭炎

水痘

手足口病

伝染性紅斑

突発性発しん

ヘルパンギーナ

流行性耳下腺炎

急性出血性結膜炎

流行性角結膜炎

細菌性髄膜炎 # 2

無菌性髄膜炎

マイコプラズマ肺炎

クラミジア肺炎 # 3

感染性胃腸炎 (入院)

インフルエンザ

保健所	インフルエンザ # 1	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 群レンサ球菌咽頭炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎 (入院)	インフルエンザ
全	4,919	51	99	435	1,090	179	31	50	42	1	7	1	23	-	-	5	-	36
県	19,29	0.32	0.62	2.72	6.81	1.12	0.19	0.31	0.26	0.01	0.04	0.03	0.61	-	-	0.45	-	3.27
朝	403	-	7	42	99	28	1	4	6	-	1	-	1	-	-	-	-	11
朝	17.52	-	0.47	2.80	6.60	1.87	0.07	0.27	0.40	-	0.07	-	0.25	-	-	-	-	11.00
鴻	352	2	11	21	65	18	3	7	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*
鴻	18.53	0.17	0.92	1.75	5.42	1.50	0.25	0.58	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*
東	142	3	-	4	32	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東	17.75	0.60	-	0.80	6.40	0.80	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山	34	-	1	-	6	-	-	1	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-
山	6.80	-	0.33	-	2.00	-	-	0.33	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-
秩	99	1	4	6	6	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩	14.14	0.25	1.00	1.50	1.50	-	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	262	-	4	37	84	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
本	20.15	-	0.50	4.63	10.50	0.63	0.25	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
熊	205	2	-	7	7	4	-	2	-	-	1	-	3	-	-	-	-	*
熊	20.50	0.33	-	1.17	1.17	0.67	-	0.33	-	0.17	-	-	3.00	-	-	-	-	*
加	257	1	1	25	80	7	-	4	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
加	25.70	0.17	0.17	4.17	13.33	1.17	-	0.67	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
春	385	19	9	23	46	8	4	4	2	-	1	-	1	-	-	-	-	6
春	27.50	2.11	1.00	2.56	5.11	0.89	0.44	0.44	0.22	-	0.11	-	0.50	-	-	-	-	6.00
幸	151	-	1	9	57	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
幸	15.10	-	0.17	1.50	9.50	0.17	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
坂	371	4	3	36	62	14	1	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	*
坂	19.53	0.33	0.25	3.00	5.17	1.17	0.08	0.08	0.17	-	-	-	0.33	-	-	-	-	*
草	552	1	15	30	72	5	2	3	1	-	1	-	4	-	-	-	-	*
草	24.00	0.07	1.07	2.14	5.14	0.36	0.14	0.21	0.07	-	0.25	1.00	-	-	-	-	-	*
狭	192	6	4	43	64	4	2	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	*
狭	24.00	1.20	0.80	8.60	12.80	0.80	0.40	1.00	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	*
南	226	4	2	28	33	16	-	5	4	1	-	-	*	*	*	*	*	*
南	17.38	0.50	0.25	3.50	4.13	2.00	-	0.63	0.50	0.13	-	-	*	*	*	*	*	*
川	315	-	6	23	23	5	-	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1
川	24.23	-	0.75	2.88	2.88	0.63	-	0.63	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
越	383	1	12	62	135	21	2	3	5	-	4	-	3	-	-	-	-	4
越	19.15	0.08	0.92	4.77	10.38	1.62	0.15	0.23	0.38	-	0.31	-	0.75	-	-	-	-	4.00
川	590	7	19	39	219	39	8	7	11	-	-	-	9	-	-	-	-	8
さい	14.75	0.27	0.73	1.50	8.42	1.50	0.31	0.27	0.42	-	-	-	1.29	-	-	-	-	8.00

(- : 0.00) # 1 インフルエンザを除く # 2 真菌性を含む # 3 オウム病を除く

1月 14日 14:00 集計

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2020年第2週 1月6日～1月12日)

	合計																				
	-6ヵ月	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~		
インフルエンザ #1	4,919	26	94	258	223	224	256	244	248	184	172	136	473	217	330	449	633	363	201	143	45
	合計 -6ヵ月12ヵ月		1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
	合計 -6ヵ月12ヵ月		1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
RSウイルス感染症	51	9	20	11	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	99	-	4	21	18	16	13	9	5	4	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	435	-	-	14	20	33	52	56	60	51	31	37	44	3	34	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,090	11	79	179	146	101	85	67	55	50	33	42	99	26	117	-	-	-	-	-	-
水痘	179	-	2	4	2	7	21	15	24	28	20	21	32	1	2	-	-	-	-	-	-
手足口病	31	-	3	3	6	3	5	2	4	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	50	-	1	4	5	4	8	7	6	8	2	2	1	-	2	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	42	-	16	23	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	1	-	-	2	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計 -6ヵ月12ヵ月		1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	23	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6	3	5	4	3	1	-	-
	合計 0歳		1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	36	2	3	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	5	22	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第51週 (12月16日～12月22日)

令和2年1月15日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(41.46)、宮城県(31.80)、埼玉県(29.57)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,184例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(59例)、1～9歳(412例)、10代(104例)、20代(8例)、30代(23例)、40代(29例)、50代(53例)、60代(102例)、70代(181例)、80歳以上(213例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(2.12)、岩手県(1.49)、長野県(1.48)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(3.09)、福井県(1.96)、鳥取県(1.84)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第48週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福岡県(7.98)、鳥取県(7.89)、山形県(6.90)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は熊本県(15.28)、富山県(14.03)、福井県(13.52)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.91)、青森県(1.86)、岩手県(1.56)、熊本県(1.56)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は熊本県(1.94)、佐賀県(1.74)、鳥取県(1.58)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.26)、熊本県(0.26)、新潟県(0.23)、宮崎県(0.22)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.68)、福岡県(0.28)、宮城県(0.16)である。

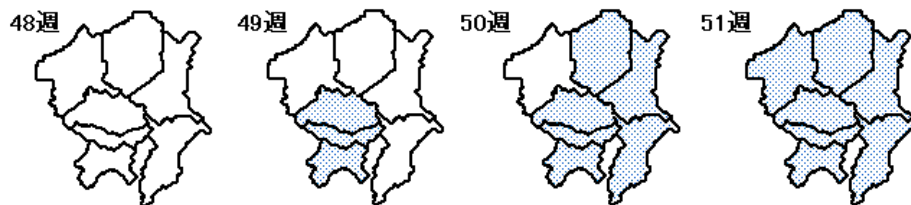
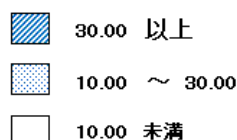
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は香川県(1.60)、徳島県(1.43)、鳥取県(1.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。4道県から5例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2019年 第51週(12月16日～12月22日): 通巻第21巻 第51号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は関東全域で、注意報レベルの10.00を上回った。

インフルエンザ



		2019年 51週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	105,221	35,769	2,359	1,682	1,237	7,630	5,323	9,119	8,419
	定点当たり	21.22	23.41	19.66	22.13	14.06	29.57	24.76	22.30	23.26
RSウイルス感染症	報告数	1,702	249	19	22	11	61	35	65	36
	定点当たり	0.54	0.26	0.25	0.46	0.20	0.37	0.26	0.25	0.16
咽頭結膜熱	報告数	2,444	625	73	12	32	164	93	145	106
	定点当たり	0.77	0.65	0.97	0.25	0.59	1.01	0.69	0.56	0.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	11,780	3,813	248	84	151	732	714	987	897
	定点当たり	3.72	3.95	3.31	1.75	2.80	4.49	5.29	3.81	3.87
感染性胃腸炎	報告数	23,635	8,170	541	274	481	1,426	1,005	2,635	1,808
	定点当たり	7.46	8.46	7.21	5.71	8.91	8.75	7.44	10.17	7.79
水痘	報告数	1,993	733	56	24	24	198	102	190	139
	定点当たり	0.63	0.76	0.75	0.50	0.44	1.21	0.76	0.73	0.60
手足口病	報告数	2,214	709	38	27	22	107	78	246	191
	定点当たり	0.70	0.73	0.51	0.56	0.41	0.66	0.58	0.95	0.82
伝染性紅斑	報告数	2,001	235	24	21	25	54	41	28	42
	定点当たり	0.63	0.24	0.32	0.44	0.46	0.33	0.30	0.11	0.18
突発性発しん	報告数	1,050	336	18	20	19	58	36	107	78
	定点当たり	0.33	0.35	0.24	0.42	0.35	0.36	0.27	0.41	0.34
ヘルパンギーナ	報告数	213	39	1	-	-	5	3	29	1
	定点当たり	0.07	0.04	0.01	-	-	0.03	0.02	0.11	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	241	66	1	4	4	15	8	16	18
	定点当たり	0.08	0.07	0.01	0.08	0.07	0.09	0.06	0.06	0.08
急性出血性結膜炎	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	445	157	25	3	11	26	20	9	63
	定点当たり	0.64	0.77	1.47	0.25	0.73	0.63	0.59	0.26	1.24
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	17	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.04	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	226	55	9	3	6	8	9	16	4
	定点当たり	0.47	0.65	0.75	0.43	0.67	0.73	1.00	0.64	0.36
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	5	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.09	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県病原微生物検出情報 (月報) 2019 年 12 月号 2020 年 1 月 15 日発行

この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

インフルエンザ検体は前月より増加し、12月には186検体採取され、AH1pdm09が167件、B型が7件、AH3が1件検出されました。

細菌検出状況

令和元年12月31日現在

病原体名	分離月	10月	11月	12月	備考 (12月分)
三類	赤痢菌	1 [1]	2[1]	1	<i>Shigella sonnei</i> : 1
	腸管出血性大腸菌 O157	9	7	5	H7(VT1&2) : 2, H7(VT2) : 2, H - (VT1&2) : 1
	腸管出血性大腸菌 O26		1		
	腸管出血性大腸菌その他	3	1		
四類	レジオネラ菌	3	4		
五類	肺炎球菌		1		
	侵襲性インフルエンザ菌	1			
	溶血性レンサ球菌 (劇症型)	2			
	播種性クリプトコックス症		1		
	その他	11	8	3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) : 3... <i>Klebsiella aerogenes</i> : 1, <i>Klebsiella pneumoniae</i> : 1, <i>Enterobacter cloacae</i> : 1

[]内は海外感染例再掲

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

四類感染症

令和2年 1月7日 現在 (累計 : 1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
E型肝炎	検体数	4	1	4	51		その他のウイルス
	E型肝炎	2		2	17		
	検査中	1		1	12		
A型肝炎	検体数				9		
	A型肝炎				5		
重症熱性血小板減少症候群	検体数				4	EB(2)	
チクングニア熱	検体数				2		
	チクングニア				2		
デング熱	検体数	2	1	2	19	チクングニア(1)	
	デング			1	10		

五類感染症

令和2年 1月7日 現在 (累計 : 1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
急性弛緩性麻痺	検体数	83	30	30	1285		その他のウイルス
	エンテロ D68	6			21	パレコ(2), EB(2), サイトメガロ(1), ヒトヘルペス 7(1)	
急性脳炎 (四類以外)	検体数	15	15	2	124	/	
	コクサッキー B3				2		
	エンテロ nt	1			1		
	パレコ				5		
	ライノ		1		4		
	単純ヘルペス 1				2		
	EB				3		
	サイトメガロ		2		3		
	ヒトヘルペス 6	4			9		
	ヒトヘルペス 7				1		
	ヒトパルボ B19				3		
	ノロ				1		
	ロタ (A)				5		
	インフルエンザ AH3				1		
	RS				1		
ヒトメタニューモ				1			
パラインフルエンザ 1				1			
アデノ 2				1			
検査中		3		3			
風しん	検体数	14		13	378	エンテロ nt(1), 単純ヘルペス 1(1), ヒトパルボ B19(19), インフルエンザ AH3(1), インフルエンザ A(1), アデノ 2(1), アデノ nt(1)	
	風しん	2			109		
	検査中			8*	8		
先天性風しん症候群	検体数				10		
麻疹	検体数	48	15	15	752	麻疹(ワクチン株)(12), 風しん(ワクチン株)(1), コクサッキー A6(3), コクサッキー B3(1), エンテロ nt(2), パレコ(3), ライノ(5), ヒトヘルペス 6(20), ヒトヘルペス 7(3), ヒトパルボ B19(41), アデノ 1(1), アデノ 2(3), アデノ 5(1), アデノ 6(1), アデノ nt(3), インフルエンザ AH1pdm09(1), インフルエンザ AH3(2)	
	麻疹				80		
	風しん				45		
	検査中			9*	9		

nt : not typed

* : 風しん検体の検査中8検体

及び麻疹検体の検査中9検体

は、風しんウイルス、麻疹ウ

イルスは陰性です。

この情報についてのお問い合わせは、感染症情報センター (感染症疫学情報担当) 0493-59-9325へ

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ

令和2年 1月7日 現在(累計:1月~)

臨床診断名	検出月 検体合計数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	
インフルエンザ	検体数	226	141	55	62	32	9	6	6	13	18	58	186	812	ヒトメタニューモ(6)、パラインフルエンザ 1(3)、パラインフルエンザ 2(1)、パラインフルエンザ 3(4)、コロナ(6)、ボカ(2)、ライノ(13)、アデノ 2(1)、アデノ nt(4)
	インフルエンザ AH1pdm09	82	24	10	9	2	2	3	4	10	16	55	167	384	
	インフルエンザ AH3	134	106	29	18	4			1		1	2	1	296	
	インフルエンザ A	2												2	
	インフルエンザ B	4	2	6	30	22	3			1			7	75	
検査中												9	9		

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

令和2年 1月7日 現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	検体数	
RSウイルス感染症	検体数	37	26	24	38	43	35	51	51	62	41	52	23	496	ヒトメタニューモ(4)、パラインフルエンザ 2(1)、パラインフルエンザ 3(4)、パラインフルエンザ 4(1)、コロナ(1)、ボカ(3)、アデノ nt(1)、コクサッキー B5(2)、パレコ(1)、ライノ(12)
	RS	2	2	3	3	1		3	2	13	5	4	2	40	
咽頭結膜熱	検体数		2	1	1	5	4	4	2	1	3	1	2	26	アデノ nt(1)、コクサッキー A6(1)、パレコ(1)、サイトメガロ(1)、ヒトヘルペス6(1)
	アデノ 1			1	1	1	2	1						6	
	アデノ 2		1			1	1	2						5	
	アデノ 3		1			1		1	1			1		5	
	アデノ 4					1				1				2	
検査中										1			2		
感染性胃腸炎	検体数	13	15	8	17	14	13	12	6	3	10	5	10	126	アデノ 1(4)、アデノ 2(6)、アデノ 3(2)、アデノ nt(1)、コクサッキー A6(1)、コクサッキー A16(2)、コクサッキー B3(1)、エコー 18(1)、エコー 25(1)、パレコ(3)、ライノ(7)
	ノロ	6	8	3	1	1	3	1					7	30	
	サボ	2					3	2						7	
	アストロ	1	1											2	
	ロタ (A)	2			3	1								6	
	アデノ 40/41	1			6	3	5	3	1		1	1		21	
手足口病	検体数	1	2	1	3		9	17	10	12	3	4	3	65	エンテロ nt(2)、パレコ(1)、ライノ(2)、アデノ nt(2)、ヒトヘルペス6(1)、ヒトバルボ B19(1)、パラインフルエンザ3(1)
	コクサッキー A5									1				1	
	コクサッキー A6						6	12	8	3				29	
	コクサッキー A10									1				1	
	コクサッキー A16			1				4		1	3	4		13	
検査中												3	3		
伝染性紅斑	検体数		1		1									2	
	ヒトバルボ B19				1									1	
突発性発しん	検体数				1		1					1		3	
	ヒトヘルペス 6														
検査中															
ヘルパンギーナ	検体数				1		1	2	2	1				7	エコー 11(1)、ライノ(2)、アデノ nt(1)、ヒトバルボ B19(1)、RS(1)
	コクサッキー A5								2					2	
検査中								2						2	
流行性耳下腺炎	検体数					1								1	アデノ 2(1)
	ムンプス														
流行性角結膜炎	検体数				1		2	2		1		2		8	
	アデノ 3				1			1				1		3	
	アデノ 37							1	1					2	
	アデノ 56							1				1		2	
	アデノ 64									1				1	
無菌性髄膜炎	検体数	21	4	8	7	17	6	22	26	27	15	34	3	190	
	コクサッキー A5							1						1	
	コクサッキー A6								1					1	
	コクサッキー B3						1	4		4		2		11	
	コクサッキー B4								4					4	
	コクサッキー B5		3									3		6	
	エコー 15							1						1	
	エコー 18									4				4	
	エコー 25									1				1	
	エコー 30											4		4	
	エンテロ nt						1	1						2	
	パレコ		1					4	4	3		1		13	
	ライノ		2			4				1	1	5		13	
	アデノ 1					1								1	
	アデノ 2		2									1		3	
	単純ヘルペス 2				1									1	
	水痘帯状疱疹しん			2		1			2			2		7	
	EB		2		1	1				1		1		5	
	サイトメガロ		1		1				1		1	2		6	
	ヒトヘルペス 6		3											3	
	ヒトヘルペス 7		1		2	1				1		1		6	
	ヒトバルボ B19		2						1					3	
	ムンプス		2										1	3	
ボカ				1									1		
パラインフルエンザ2										1			1		
検査中												3	3		

nt : not typed

感染症発生動向調査 2020年

- [感染症の流行状況 2020年 第1週](#)

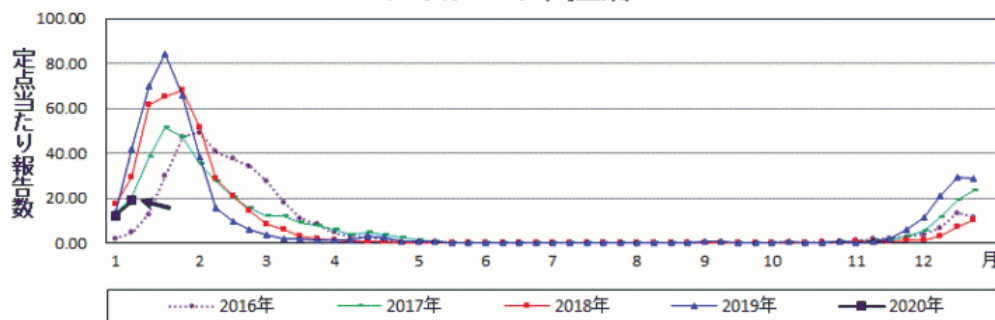
感染症の流行状況 2020年 第2週

2020年第2週（1月6日～1月12日）の要点 令和2年1月15日

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週より増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	↑	★★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン